

アンケートのご協力ありがとうございました

■生徒のアンケート結果

	設 問	R7	R6	R5
1	自分には、よいところがあると思いますか。	86.3	90.5	84.3
2	将来の夢や目標をもっていますか。	68.8	68.8	70.2
3	進んで挨拶ができていますか。	93.0	89.8	88.5
4	自分でやると決めたことは、やり遂げようとしていますか。	89.4	87.0	87.8
5	授業の内容がわかりますか。	89.7	91.6	89.5
6	仲間と一緒に学び合うことを通して、授業で「わかった」「できた」と実感していますか。	92.3	96.0	96.3
7	家庭学習を2時間以上取り組んでいますか。(学習塾・家庭教師も含む)	59.0	60.3	67.9
8	学校や学級での生活は、楽しいですか。	93.9	95.2	94.2
9	学校でよい仲間関係がつくれていますか。	97.2	94.6	95.8
10	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	98.3	98.2	97.5
11	あなたは、担任の先生とよくコミュニケーションがとれていますか。	94.3	93.4	93.8
12	学校のきまりを守って生活できていると思いますか。	96.7	96.6	98.7
13	学校で落ち着いて学習や生活ができていますか。	93.9	92.9	94.1
14	係活動・生徒会活動に、一生懸命取り組んでいますか。	95.3	96.3	98.1
15	学校行事(体育祭)の活動に、一生懸命取り組みましたか。	97.8	98.2	98.1
16	地域の行事やボランティア活動などに、積極的に参加しましたか。	62.6	58.6	68.7
17	学校の様子や出来事などを保護者に話すなど、学校生活を伝えていますか。	85.0	81.2	85.6
18	朝食を毎日食べていますか。	88.9	92.1	89.0
19	パソコンやスマートフォン、携帯電話等の使用について家庭で約束を守っていますか。	89.9	87.6	88.6
20	自分や仲間のために健康管理に取り組んでいますか。(感染症予防等)	94.5	92.7	95.2

■保護者のアンケート結果

	設 問	R7	R6	R5
1	お子さんは、学校生活に楽しさを感じていると思いますか	89.3	88.6	91.9
2	お子さんは、学校でよい仲間関係を作れていると感じますか	92.7	89.0	93.7
3	現在、生徒全体は落ち着いて学校で学習や生活ができていると感じますか。	87.5	91.5	93.6
4	ご家庭では、将来のことや進路について、お子さんと話し合うことはありますか。	85.5	76.6	79.7
5	お子さんは、地域の行事やボランティア活動等に積極的に参加していると感じますか。	41.4	49.6	58.9
6	お子さんは配付物を渡したり学校生活や出来事を話したりする等、学校の様子を伝えていますか。	74.9	71.7	77.1
7	お子さんは帰宅後、2時間以上の家庭学習ができていますか。(学習塾・家庭教師による指導を含む)	44.5	44.4	51.5
8	ご家庭では、お子さんと一緒に食事をしていますか。	93.8	91.6	92.3
9	スマートフォン等の情報機器の使用は、家庭でルールを決めて使用させていますか。	73.1	71.4	72.2
10	ご家庭では、健康管理に取り組んでいますか。(感染症予防等)	93.3	94.4	93.3

「令和7年度 学校評価 生徒・保護者アンケート」から

【学校生活楽しさ 自治力】 「1 と思う + 2 おおむね思うの合計」

○生徒

8 学校や学級での生活は楽しい	93.9 (1.2 ↓)
10 いじめはよくない	98.3 (0.1 ↑)
12 決まりを守る	96.7 (0.1 ↑)
13 落ち着いた学校生活	93.9 (0.9 ↑)
14 係活動、生徒会活動	95.3 (1.0 ↓)
15 学校行事に一生懸命取り組む	97.8 (0.4 ↓)

○保護者

1 学校生活に楽しさを感じている	89.3 (0.8 ↑)
3 落ち着いて学校生活をおくる	87.5 (4.0 ↓)

90パーセント前後の
高いポイントである。

結果をもとに、よくない
と回答した生徒に教育
相談を行う。

<要因>

- ・ 3年間「わたしたちの楽幸」という生徒会スローガンのもと、生徒会活動、学級活動、縦割り活動、いじめについて考える道徳、ひびきあいの日など、生徒の自治力を高め、生徒自らがやりきり達成感を感じる活動が継続的に行われ、効果が表れている。
- ・ いじめや暴力行為について、管理職、生徒指導主事、学年主任、学級担任と連携を図りながら、学年を中心に適切な指導が行われている。

【学力】「1 と思う + 2 おおむね思うの合計」

○生徒

6 学び合いの実感	92.3 (3.7 ↓)
5 授業の内容がわかる	89.7 (1.8 ↓)
6 家庭学習（2時間）	59.0 (1.3 ↓)

○保護者

7 家庭学習（2時間）	44.5 (0.1 ↑)
-------------	--------------

90%前後の生徒が学
び合いを実感してい
る。授業がわかると感
じている生徒の割合は
高い。

<要因>

- ・ 生徒が自分の学びを選択し協働的に学ぶことができる場を設定したり、学びのデータを活用した自己調整学習を取り入れたりすることで、学び合いを実感することができた。
- ・ 学びの定着を図る家庭学習や、生徒の学習の実態に応じた指導を工夫する必要がある。

【自己有用感 仲間関係】「1 と思う+2 おおむね思うの合計

○生徒

1 自分には、よいところがある	86.3 (4.1 ↓)
2 将来の夢や目標をもつ	68.8 (1.4 ↓)
9 よりよい仲間関係をつくる	97.2 (2.6 ↑)

○保護者

4 将来や進路について話し合う	85.5 (8.9 ↑)
2 よい仲間関係をつくられている	92.7 (3.7 ↑)

よりよい仲間関係をつくることができているという実感が生徒、保護者共に高まった。家庭で将来や進路について話し合うことが多くなった。

<要因>

- ・ 体育祭、合唱祭などの行事を通して、学級や学年の仲間と高め合ったり、他者を認め合ったりすることができた。行事の成果と課題を日常生活につなぐことができた。

【その他】

○生徒	3 進んであいさつができる	93.0 (3.2 ↑)
	4 自分で決めたことをやりとげる	89.4 (2.4 ↑)
	11 先生とコミュニケーションをとる	94.3 (1.0 ↑)
	17 学校の様子を保護者に伝える	85.0 (3.8 ↑)

<今後に向けて>

- ・ 「学校生活が楽しい」「あいさつをする」「よりよい仲間関係をつくる」「学校行事に一生懸命取り組む」「いじめはどんな理由があってもよくない」については、生徒会スローガン「わたしたちの楽幸」につながる具体的な成果であり、生徒自身が誇りをもち、高富中学校の伝統として継続できるものにする。
- ・ 家庭において将来の夢や目標について話し合う機会は増えてきているので、学校でも計画的なキャリア教育を実施したり、総合的な学習の時間にキャリアについて触れる時間を設定したりして、夢や目標をもてる工夫を継続する。
- ・ 学習の定着を図る家庭学習ができるような具体的な指導をする。学習時間だけでなく実態に応じて、取組内容を自己調整できるようにする。

仲間や先生と進んでコミュニケーションをとることでよりよい関係を築いていこうとする生徒が多く、安心して学校生活を送り、高中を輝かせていました。また、保護者の皆様には、学校の教育活動に対するご理解と、生徒のためにご協力をいただきましたことに感謝いたします。来年度に向けての方向性を学校応援団本部の皆様とともに話し合っていきます。